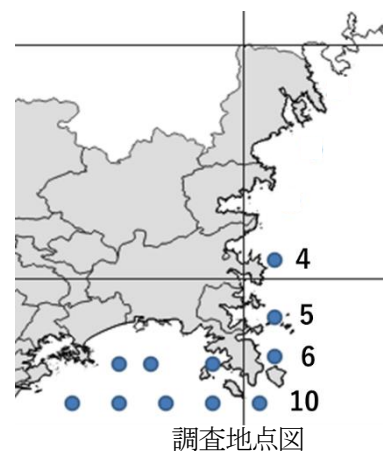


# 令和5年度 牡鹿半島周辺・以北\_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.1)

令和5年4月7日  
水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和5年4月5日
- 2 調査地点 右図の4定点(St. 4, 5, 6及び10)
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)
  - 1) 水温: 表層で10.8~12.3℃の範囲にありました。
  - 2) 貝毒原因プランクトン出現数
    - ・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) が20~180細胞/L確認されました。
    - ・下痢性貝毒原因プランクトン, *Dinophysis fortii*は確認されず、*D. acuminata*が0~20細胞/L確認されました。



調査結果表(4定点)

St.	日時 水深 (m)	透明度 (m)	表面水温 (°C)	貝毒プランクトン出現数 (細胞/L)							
				<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	
				4月5日	3月9日	4月5日	3月9日	4月5日	3月9日	4月5日	備考
4	11:05 (85)	7.0	11.8	20	0	0	0	0	0	0	
5	10:23 (31)	8.0	10.8	80	0	0	0	10	0	0	
6	9:47 (67)	9.0	11.6	20	0	0	0	10	0	0	
10	9:03 (84)	9.0	12.3	180	0	0	0	20	0	0	

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水